



東京学芸大学 文部科学省委託  
「高等学校における日本語指導体制の充実に関する調査研究」

# 高等学校における日本語指導・体制整備に関する研修 対面 第1回

高等学校の日本語指導の内容構成開発と実践  
-「特別の教育課程」による日本語指導の充実に向けて-





# 各プログラムについて

- (1) プログラムA「生活のための日本語」
- (2) プログラムB「日本語基礎」
- (3) プログラムC「技能別日本語」
- (4) プログラムD「日本語プロジェクト」





# プログラムA「生活のための日本語」

## ①考え方

来日後の日本での学校・社会生活を送るために、**すぐに必要となる日本語の語彙・表現**を学ぶ  
**生活に密着した場面、年齢相応の場面**を選択

## ②シラバス

- ・**文化・行動様式の違い**によって戸惑う生活場面の語彙・表現
- ・**健康に・安全に生活**するために必要な場面の語彙・表現
- ・**周囲の仲間と関係**を作るために必要な語彙・表現

# プログラムA シラバス例

『ガイドライン』p.102、117-118参照

テーマ	場面・状況	語彙・表現
健康・衛生・安全	トイレ	トイレ、いいですか どうぞ
	食事	アレルギー 栄養 好き 嫌い いる／いない
	インフルエンザ・コロナ	マスク 手洗い うがい 予防 感染 枠銀
社会生活	交通	電車 バス 自転車 徒歩 遅延 運休 すみません、おくれます
	災害	地震 火事 津波 洪水 避難所 連絡先 逃げろ 逃げて
	危険な場所	危険 人が少ない 暗い 一人 助けて! 誰か!
関係づくり	挨拶(先輩と)	お疲れ様です よろしくお願ひします
	困った時	どうすればいいですか? 見せてください
	わからない時	教えてください わかりました
学校生活	教科	国語 数学 地理・歴史 公民 理科 外国語 保健体育 芸術(音楽・美術など)
	時間割	休み時間 ○時間目 ○時○分~○時○分 ショートホームルーム(SHR) ロングホームルーム(LHR)次、 なんの授業? ○時間目なに?
	服装	制服 体操着 着替え 更衣室

### ③方法

ステップ1： 絵図やジェスチャー・具体物で状況提示。日本語の語彙・表現の形式（音）と意味のマッチング。使い方を学ぶ。

ステップ2： 場面を提示してステップ1で学んだ語彙や表現で問題解決行動を行う練習

ステップ3： 学んだことを確認（発話して、書いて）

### ④活動例

～生理痛を訴えて保健室で休ませてもらったり、生理用品をもらったりすることができる～

ステップ1： 「生理」「生理痛」などの語彙や「おなかが痛い」などの表現の導入と理解

ステップ2： 保健室での会話を練習

ステップ3： （養護の先生と連携したうえで）実際に保健室で生理用品をもらう





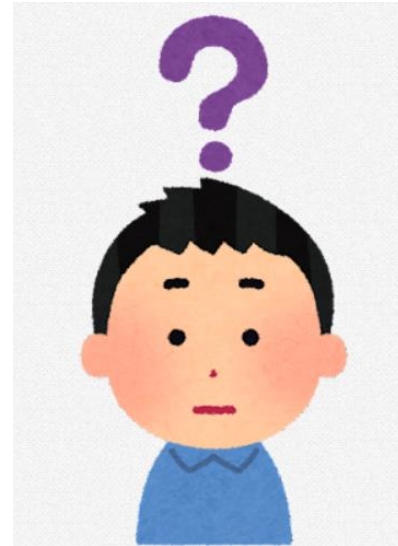
東京学芸大学 文部科学省委託

「高等学校における日本語指導体制の充実に関する調査研究」

# プログラムB 「日本語基礎」

## ①考え方

日本語の基礎的な構造・意味・機能を理解し、生活や学習場面で運用できるようにすることを目指す





## 日本語の表記・構造の特徴

表記

- ・文字が3種類ある

ひらがな、カタカナ、漢字（音読み、訓読み） + カタカナ語（外来語）

構造

- ・助詞による文の骨格の形成
- ・動詞等の活用
- ・文末表現の多様さと重要性

あした、先生 **が** 授業中 **に** 資料 **を** 見せてくれる

かもしれない。  
んだって。  
みたいだ。  
はずがない。

命題

モダリティ



## 日本語の表記・構造の特徴

表記

構造

- 文字が3種類ある  
ひらがな、カタカナ、漢字（音読み、訓読み） + カタカナ語（外来語）
- 助詞による文の骨格の形成
- 動詞等の活用
- 文末表現の多様さと重要性

魚（が）食べた  
魚（を）食べた  
魚（と）食べた

あした、先生 **が** 授業中 **に** 資料 **を** 見せてくれる

かもしれない。  
んだって。  
みたいだ。  
はずがない。

助詞

命題

動詞が活用  
見せる、見せない、  
見せた、見せられた…

モダリティ





## 日本語の表記・構造の特徴

表記

- 文字が3種類ある  
ひらがな、カタカナ、漢字（音読み、訓読み） + カタカナ語（外来語）

構造

- 助詞による文の骨格の形成
- 動詞等の活用
- 文末表現の多様さと重要性

魚（が）食べた  
魚（を）食べた  
魚（と）食べた

あした、先生 **が** 授業中 **に** 資料 **を** 見せてくれる

かもしれない。  
んだって。  
みたいだ。  
はずがない。

助詞

名詞修飾による情報  
付与

→文が長くなる

例) 江戸時代に書かれた  
貴重な資料

動詞が活用

見せる、見せない、  
見せた、見せられた...

モダリティ



# プログラムB 「日本語基礎」

時間数に合わせて  
学習項目を  
選択

## ②シラバス

### 日本語基礎Ⅰ「わたし」

自分や自分の周りのことについて話し、同様のテーマで周囲の人と基礎的なコミュニケーションをとることができる。

### 日本語基礎Ⅱ「仲間」

教室や放課後に教師やクラスメイトと、経験の共有、意見のやりとり、依頼や許可等の多様なコミュニケーションをとることができる。

### 日本語基礎Ⅲ「学習」

基礎的なコミュニケーションの日本語の精度を高め、教科の学習に繋がる日本語の構造を理解することができる。

### オプション 日本語基礎Ⅳ (JLPT対応)

項目	会話/ 場面	文型	意味・機能	語彙/注意点
1	自己紹介	私は <u>ブラジル人</u> です 私は <u>日本人ではありません</u> アインさんは <u>ベトナム人</u> ですか 私も <u>ブラジル人</u> です	説明 否定 疑問 同類の取り立て	名前、年齢、学年、数字 等何(歳)
2	私の家族	私の <u>家族</u>	所属 所有	家族、持ち物 等 だれ
10	ほしいもの したいこと	新しいスマホが <u>ほしい</u> です。でも、 <u>たか</u> いです アニメが <u>好き</u> です。だから、アニメを勉強したいです	要求・希望・要望 順接・逆接	ほしいものの名前 等
13	私の友達	私の母は <u>明る</u> くて <u>元気</u> です ゆりさんは <u>親切</u> で <u>やさ</u> しいです ロゲスさんは <u>ブラジル人</u> で <u>面白</u> いです	状態の並列	人の様子・性格を表す形容詞・形容動詞:やさしい、若い、強い、おとなしい、親切な 等
		チェンさんは <u>背</u> が <u>高</u> いです	状態	
14	相手の経験を聞く	Q 九州に行ったことがありますか A はい、あります/いいえ、ありません	過去の経験	日常生活の動詞2:登る、読む、見る 等
	自分の経験を話す	修学旅行で <u>お土産</u> を買ったり <u>友達</u> と <u>写真</u> を撮ったり <u>したい</u> です	例示	

### ③ 方法

- ステップ1: 授業の目標とする文型・表現等の形・意味・使い方を知る。  
ステップ2: ステップ1で学んだ文型・語彙・表現の発話練習（基礎練習）  
ステップ3: 学んだことを使って創造的に発話・作文等のコミュニケーション活動を行う（応用練習）

### ④ 活動例

目標／学習項目	目標: 学校生活のルール等を理解して行動したり、指示したりできる。 「Vてください」「Vないてください」の表現の使い方を知り、学校や教室でのルールを理解したり、発話したりすることができる。 学習項目: (1) 依頼・指示を表す「Vてください」 (2) 禁止を表す「Vないてください」
場面・トピック	(1) (2) 学校や教室での指示
対象生徒	滞日年数: 来日直後の生徒を想定
	日本語の力: 日本語を学び始めたばかりの初級レベル
時間	50分

(1) Vてください (依頼・指示を表す「てください」)

ステップ1: 「Vてください」という表現を知り、「Vて」は動詞のて形であることを知る。

◇ 文の意味を状況から理解させる。たとえば、小テストの用紙など、普段必ず名前を書く用紙を配り、名前の欄を指して、「名前を書いてください」と言い、生徒に実際に名前を書かせる等。

◇ 「書いてください」と板書し、「書いて」に下線を引き、「Vて」と書く。「Vてください」は動詞のて形を使うことを理解させる。日本語基礎 I 項目12で学んだ動詞のて形の作り方を復習する。

ステップ2: 動詞のて形の作り方を練習し、「Vてください」という言い方を練習する。

①動詞のて形の作り方を復習する。(変形練習)

②教室でよく使用する語を使って「Vてください」の言い方を練習する。(代入練習、完成練習)

◇ 教室では、「ください」を省略して「Vて」という表現が使われることにも気づかせるとよい。

・名前を書いてください。

・暑いですね。窓をあけてください。

・暗いですね。電気をつけてください。

・教科書を読んでください。

・プリントを出してください。

・体育館に集合してください。

・黒板を見て。

(2) Vないてください(禁止の「Vないてください」)

ステップ1: 「Vないてください」という表現と、動詞のない形の作り方を  
知る。

①「Vないてください」という表現を知る。

◇ 文の意味を状況から理解させる。例えば、授業中に寝ている生徒の絵や、テスト中に教科書を見ている生徒の絵などを示して「今、授業です。寝ないてください。」と言う等。

②動詞のない形の作り方を知る。

◇ 動詞のます形からない形を作る方法を体系的に示す。

ステップ2: 動詞のない形と「Vないてください」という言い方を練習する

①動詞のない形を言う練習をする。(変形練習)

◇ 生徒が日常生活でよく使用する語で行う。

②教室や学校でよく使う表現を使って、「Vないてください」の言い方を練習する。(代入練習、完成練習)

◇ 教室では、「ください」を省略して「Vないで」という表現が使われることにも気づかせるとよい。

・授業です。寝ないてください。  
・テストです。教科書を見ないてください。  
・廊下を走らないてください。

語彙: 使わない、走らない、話さない、行かない、忘れない、見ない、食べない、遅れない、遅刻しない等

・明日は水泳があります。水着を忘れないてください。  
・明日、絶対遅刻しないで!

(1)と(2)の応用練習

ステップ3: 教員役になって、学校や教室で使われる指示文を言う。  
(ロールプレイ)

①教室でどのようなときに「Vてください」(または「Vて」)や「Vないでください」(または「Vないで」)が使われているかを生徒同士で話しあう。

◇ 音楽の時間、体育の時間、学活など、教科ごとに指示が違う場合教科ごとに考えるのもよい。

②生徒の一人が教員役になってクラスメイトに指示を伝え、ほかの生徒が対応する。(ロールプレイ)

◇ 生徒の応答は、「わかりました」だけでなく、「えー」「どうしてですか」(不満を表す)なども取り上げ、厳しい先生役の理不尽な指示への対応も演じられると盛り上がり、日常生活にも結びつきやすい。

・(理科の実験のときに)手で触らないでください。

教師役: 給食です。走らないでください。  
生徒役: わかりました

教師役: おかわりしないでください。

生徒役: えー、どうしてですか。

教師役: 時間がありません!もう授業です!



# プログラムC 「技能別日本語」

## 1. 考え方

「日本語で～ができるようになりたい」という生徒のニーズに基づき、生活上の問題や興味・関心、学習場面や進路に関する課題を設定する。

そして、課題を遂行するプロセスにおいて、学習した日本語の基礎的な構造・意味・機能に関する知識を活性化し、運用することを促す。

事例 「折れ線グラフから読み取ろう」 ガイドライン p66-67

実践例 「作文指導」 ガイドライン p68-69





## 2. シラバス(p127-131)

4技能（聞く・話す・読む・書く）別の課題で構成されたモジュール型

※どの技能に重点を置き授業を行うかを意識する必要性

### 課題の活動タイプとトピック例：

ディスカッション、合意形成・交渉、プレゼンテーション、スピーチ、雑談、報道記事、アニメ・映画、情報・マニュアル、メール、キャリア関連

※活動タイプやトピックに応じて、必要となるスキルの詳細・ことばの使い方は異なる。



### 3.指導方法

①目標：高めたい具体的な技能を決定し、どのようなタスクができるようになるかを目標として設定する。

②展開：

- |       |  |
|-------|--|
| ステップ1 | 日本語でのパフォーマンス（モデル）を見るなどして、今日の授業の目標として、どのような技能を身に付ける学習をするのか知り、基本的な練習を行う。 |
| ステップ2 | ステップ1で学んだ技能を運用しながらタスクを遂行する。  |
| ステップ3 | タスク遂行の結果について振り返り、技能の向上に向けて注意すべきことを確認し、必要に応じて練習をする。                     |



### 3.指導方法

#### ③関連する学習項目（技能）：

実際の言語活動は4技能の様々なスキルを組み合わせで行われる。  
そのため、取り上げる課題に関連する内容・必要な技能を検討し、  
事前活動を必要に応じて行う。



## 4.授業例（学習指導案 p156-158）

R-9 「履歴書や志望動機書モデル（就職）からパターンを読み取る」

対象生徒：プログラムBに相当する日本語の基礎的な学習は終わっている段階で、日常会話等ができる。

目標：志望動機書を書くために、履歴書のフォーマットを読み、フォーマットにどのような項目と内容があるか理解できる。そして、志望動機書のモデルから、構成やよく使用される語彙・表現がわかる。

## 履 歴 書

令和 年 月 日現在

写真をはる位置  
(30×40mm)

ふりがな			性別
氏名			
生年月日	昭和・平成	年 月	日生(満 歳)
ふりがな			
現住所	〒		
ふりがな			
連絡先	〒		

(連絡先欄は現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入すること)

学 歴 ・ 職 歴	平成 令和	年 月	高等学校入学
	平成 令和	年 月	
	平成 令和	年 月	
	平成 令和	年 月	
	平成 令和	年 月	
	平成 令和	年 月	

(職歴にはいわゆるアルバイトは含まない)

資 格 等	取得年月	資格等の名称	
趣 味 ・ 特 技	校内外の諸活動		
志 望 の 動 機			
備考			

全国高等学校統一用紙(文部科学省、厚生労働省、全国高等学校長協会の協議により平成17年度改定)



### 【志望動機書例Ⅰ】工業・製造系

私は貴社の「ものづくりを通して、持続可能な豊かな生活文化を」という企業理念に魅力を感じて、志望いたしました。

私は子どものころから自動車が好きで、高校では機械技術部に所属しました。機会技術部では、エコカーを部員と作り全国大会に出場しました。優勝はできませんでしたが、一人ではできないエコカー製作を、仲間とアイデアを出しながら、作り上げる面白さや喜びを感じました。また、技能検定にも合格でき、エコカーの製作を通してさまざまな学びと体験がありました。

入社後も、人と協力して作り上げた経験を活かし、積極的に学びながら、環境に配慮したものづくりをしていきたいと思っております。



## 【志望動機書例2】介護系

私が貴社を志望したのは、「誰もが生き生きと暮らせるように手を差し伸べるプロ集団」という企業理念に共感したからです。介護職を目指したきっかけは、同居する祖母の介護です。祖母は介護が必要になってから、以前と比べ出かけなくなり、人付き合いもしなくなりました。しかし、デイサービスに行くようになってから、以前の明るさが戻ってきて、「デイサービスは次いつ？」と楽しみにしています。祖母の変化を見て、利用者に寄り添い、サポートする介護職に魅力を感じました。貴社に入社後は、利用者の生活を支える貴社の一員として、介護職として経験を積もうと思っております。そして介護福祉士の資格を取り、より良いサービスを提供できるように取り組んでいきたいと考えております。



東京学芸大学 文部科学省委託

「高等学校における日本語指導体制の充実に関する調査研究」

# プログラムD「日本語プロジェクト」

## ①考え方

### ・目標

- ①そのテーマに関し、生徒が直面している可能性のある問題の解決を目標として設定
- ②実際に問題・課題を解決する活動（プロジェクト）を通して、思考し、判断し、表現するためのことばの力を高める。

問題解決・課題探究のための日本語の力





## ①考え方

### ・対象生徒の実態

学習、キャリア形成、アイデンティティ等において、問題・課題になっていることは何か、滞日期間、日本語の力について具体的に把握する。



課題遂行において必要となる語彙や表現を  
学習項目として選定し、明示的に示す。

## ②シラバス (p131-p134)

- 1つのテーマで5~6時間のユニットとして実施
- テーマを巡る複数のタスク (聞く・話す・読む・書く) で構成
- 1つのタスクは 1~2 時間程度



4技能全体を高められる総合的な活動

テーマ: 「健康」「家族」「マネー」「キャリア」「多文化」  
「秩序と規範」「熱中していること」「成人」「地域への参加」

## ②シラバス

ガイドラインp131

3	テーマ	マネー—自立した経済生活
	目標	起業した人の資金調達や自分の家庭の支出帳をもとに、将来の目標に向けて収入と支出を適正に行うマネーリテラシーについて学び、自分の将来の目標に向けて経済面での計画（マネープラン）を立てることができる。
	タスク	1 夢をかなえて自分のお店を持った人が、起業するまでの資金の調達などの経済面の工夫の事例から、自分の生涯の経済生活を考える。マネープランを立てることの重要性について考える。 2 1週間分のレシートを集めて支出帳を書いて分析して、自立した経済生活をすることの重要性について話し合う。さらに自分の将来を具体的に描いてライフイベントごとの資質やその必要な収入についてマネープランを作る。

家庭科「経済生活をつくる 人生とお金」と関連させる



## ②シラバス

シラバスp131

### C技能別日本語プログラムと関連

5	テーマ	キャリアB—進路を切り拓く
	目標	高校卒業後の進路を切り拓くため、就職または進学等に関する必要な情報を得て自分の進路を具体的にイメージするとともに、自分自身への理解を深め、自己PRができる。
	課題	<p>1 在留資格に関する公文書等を読み、自分の現在の在留資格を確認する。さらに、卒業後日本で就職または進学を考えていく上で、在留資格の変更等で求められる要件等を理解する。</p> <p>2 就職や進学の希望先のWebサイトや情報誌を読んで、興味を持った進路先の情報を詳しく知る。さらに、希望する進路に関する年間の予定をスケジュールする。</p> <p>3 自己分析シートを使って、クラスメイトと自分の長所や短所、高校時代でしてきたことなどについて具体的なエピソードを挙げて話し合い、自分の強みを知り、希望進路先を想定して、自己PR文を書く。</p>

家庭科「ライフキャリア」と関連させる

## ②活動例 p161

総合学科の高等学校の必修科目「産業社会と人間」や、  
公共「職業生活と社会参加」家庭科「消費生活」学習と関連付けて

目標	①サプライチェーンに関する語彙・表現を知り、身近な商品が手に入る過程を調べて商品の流通について理解する。 ②丁寧な依頼や質問の表現を使用して身近な社会人にインタビューし、職種による仕事の内容の違いについて理解する。
対象生徒の日本語	日本語の基礎的な学習を終えていて、日常会話ができる
課題・問題	関心のある仕事について詳しく知らないため就業先について判断できずにいる。
指導時期	各高校の進路指導時期にあわせて
時間	50分×5単位時間



## ②活動例 p161

ワークシートを  
ご参考に

1時間目 流通経路について

- ・既有知識の確認と新しい知識(教科)
- ・流通に関する語彙、説明のための表現
- ・調べ学習

2時間目 発表の表現・調べ学習の発表

3時間目 業種・職種について学ぶ(業種・職種に関する語彙)

4時間目 身近な社会人への仕事に関するインタビュー

5時間目 インタビュー結果をまとめ、発表する

☞実践例 ガイドライン p92 大阪府立大阪わかば高校  
p93 東京都小山台高等学校(定時制)



東京学芸大学 文部科学省委託  
「高等学校における日本語指導体制の充実に関する調査研究」

# ワークショップ 15:00—16:00 (1H)

こちらは  
ワークショップ1 プログラムB です

ファシリテーター：小西・工藤・見世



# IV ワークショップ プログラムB

テーマ

学習項目の文型を使って、生徒に適した例文や語彙を使った練習を作ろう!

取り上げる学習項目 「～たり～たりする」

ガイドライン シラバス P.121 第14項目

会話場面 相手の経験を聞く、自分の経験を話す

例文 修学旅行で お土産を買ったり 友達と写真を撮ったり したいです。

意味・機能 例示

語彙 日常生活の動詞



## 活動 1

「～たり～たり」を使った例文を作しましょう！

生徒の日常生活や、学校場面を思い出して、どんな文が使われているか考えましょう。例文として示すには、どのような例文がよいか考えましょう。

「～たり～たりしたいです」「～たり～たりするつもりです」など文末を変化させることもできます。

生徒の課題解決、  
コミュニケーション  
活動に役立つ例  
文を！

まずは個人作業。  
そのあとグルー  
プでシェアしま  
す。



実際に使われている文は、例文として示すには難しすぎる語彙などが使われている場合もあります。実際の文を思い浮かべた後、語彙等を調整して、プログラムBの生徒にあった例文にしましょう。

## 活動 2

作った「～たり～たり」の例文を基に、教師と生徒になって、文を作る練習を模擬的に行いましょう。

パターンプラクティス(基本練習)の結合練習

私は休みの日に、そうじをしたり、買い物をしたりします。

生徒の  
発話



わたしは 休みの日に  
\_\_\_\_\_たり  
\_\_\_\_\_たりします。

例文

そうじをし  
ます、  
買い物をし  
ます

キュー

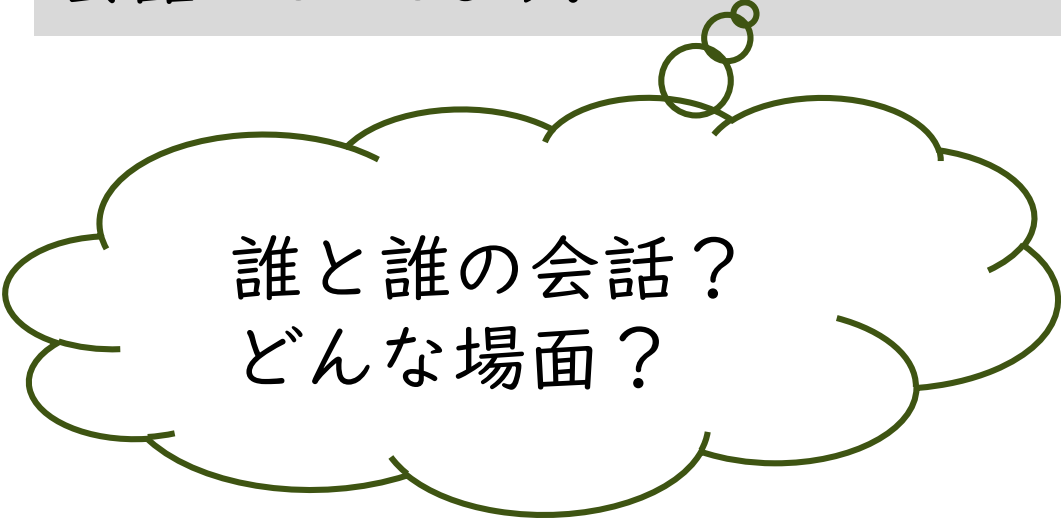


### 活動 3

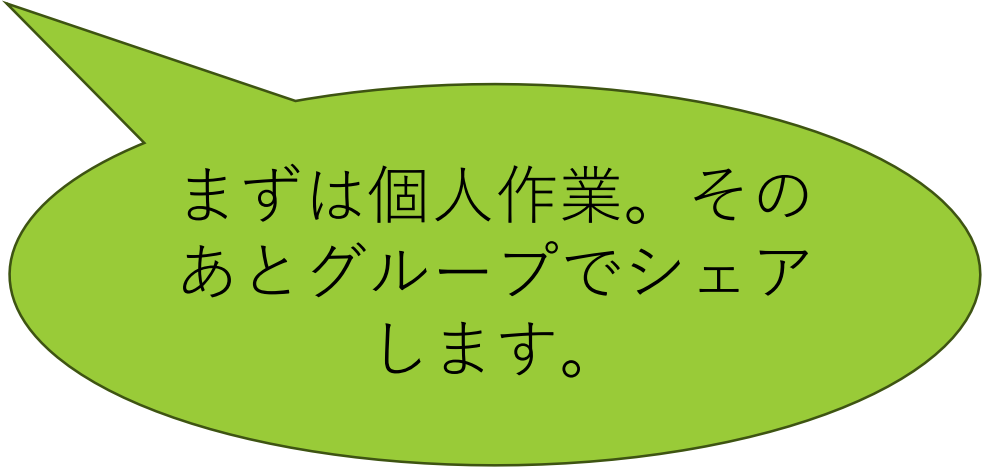
「～たり～たり」の文を含む、**モデル会話**を考えてみましょう。

生徒が実際に体験するであろう場面を想定しましょう。

そして、生徒がコミュニケーションをとったり、課題解決したりできるような会話にしましょう！




誰と誰の会話？  
どんな場面？



まずは個人作業。その  
あとグループでシェア  
します。

# IV ワークショップ プログラムB まとめ

## 例文・キュー・モデル会話作り の ポイント

- ・ 生徒が日常生活や学校生活で遭遇する場面
  - ・ 生徒のコミュニケーション活動、課題解決活動に結び付く例文
  - ・ 生徒のニーズや習熟度に合わせて語彙
- 
- ・ 教科学習につながる語彙・例文



東京学芸大学 文部科学省委託  
「高等学校における日本語指導体制の充実に関する調査研究」

# ワークショップ 15:00ー16:00(1H)

こちらは  
ワークショップ2 プログラムC です

ファシリテータ: 武内・佐屋・角田・齋藤



# IV ワークショップ プログラムC

どちらか一つを選んでください。

- ◆ S-3 「先生に新しい部活動を作る相談をする」
- ◆ W-8 「進路に関する予定表を作成する」

それぞれ、次の活動を行ってください。

S-3「先生に新しい部活動を作る相談をする」	W-8「進路に関する予定表を作成する」
活動1 部活をつくるために先生に訴えることをリストアップする	活動1 希望する進路に進めるように必要な準備をリストアップする。
活動2 先生に相談する会話(モデル)をつくる。	活動2 その生徒に作ってほしい卒業までの予定表を作成する。

最近家族と話す時、自分の国の言葉が出てこなかったり、言い方がわからない時があって、コミュニケーションがうまくいかない時がある。



マリアさん  
ペルー出身  
高校2年生  
全日制高校

これから、日本に住み続けるか、国へ帰るかはまだわからないけど、家族とはしっかりコミュニケーションを取りたいから、スペイン語をもっと勉強したい。ちゃんと勉強したら、将来、スペイン語と日本語を使って何かできることがあるかもしれない。同じ国出身のリサも、もっと勉強したいと言ってた。

この間、クラスメイトで日本人のさきちゃんが「ペルーって、どんな国？」って聞いてきた。日本人のクラスメイトにも私の国のこと、紹介できたらいいなあ。

こういう部活動があると、高校生活がもっと楽しくなるのに…

そうだ！担任の先生に相談してみようかな。  
でも、どうやって日本語で伝えたらいいんだろう。

## S-8 タスク達成のための語彙・表現例

活動1でリストアップした「先生に訴える内容」の中に含まれているはず。 → 下線を引いてください。

部活/理由を話すために必要な語彙：

部活、母語を学ぶ、条件・・・

表現：・先生、今よろしいですか。

・～について、ご相談があるんですが。 等



最近、先生との面談で、卒業後の進路についてよく聞かれる。

正直、何をしたいのかははっきりとわかっていない。

勉強も好きじゃないし、日本語の不安もある。お母さんは清掃の仕事をしているけど僕は掃除が好きじゃない。

けど、この間、やってみたいと思う仕事が見つかった。  
それは、介護の仕事。

僕の家にはおばあちゃんがいる。僕はおばあちゃんが好きだ。今おばあちゃんは週1回、ケアのところで、ご飯を食べたり、活動をしているんだけど、この間学校が休みだったから、僕も一緒に行ったんだ。

おじいちゃんやおばあちゃんのすることをサポートしている人がいて、お年寄りを大切にケアできるって、いいなあと思った。  
介護士、という仕事があるみたい。

どうやったら介護士になれるんだろう。調べ方もわからないし、いつ、何をすればいいかもわからないや。



ジェysonさん  
フィリピン出身  
高校3年生  
定時制高校

## 他の生徒の例

親からは進学しなさいと言われたこともあって、進路について考えることが増えてきた。

昔から、ゲームをすることが好きで、ゲームをしながら学んだ日本語も多い。

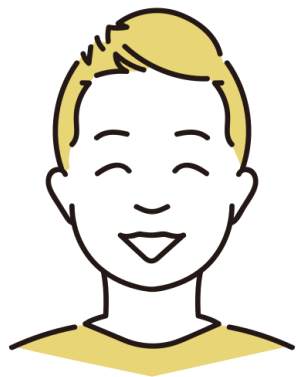
だから、ゲーム会社で働きたい。ゲームに関する仕事なら、何でもいいけど、自分でゲームを作ることに興味がある。

そういうことを学ぶためには、どこで勉強できるのかな。

どうやって、学校を調べればいいのか。

学校に入るためには、何か試験があるか、どんな試験か、いつか、わからないことがたくさんある。

あと、親は進学しなさいというけど、お金のこともちょっと心配。



クリシュナさん  
ネパール出身  
高校3年生  
定時制高校

## W-8 タスク達成のための語彙・表現例

活動1で、ジェイソンさんが希望する進路に進むための準備をリストアップしますが、そこに、含まれているはずでは

→ 下線を引きましょう。

進学・就職に向けた活動に必要な語彙：

オープンキャンパス、卒業生と語る会、志望校、入試の方法 等

予定や希望を伝える表現：

- ・ ○月に～しよう／したいと思います。
- ・ そのために…をしなければなりません。
- ・ ～までに、…することにします。



# まとめ

「特別の教育課程」としての日本語指導

◎ 1年を通して**安定的に学習の時間を確保**できる

→ 生徒の実態に合ったプログラムを選択

・組み合わせ、目標を明確にして、

計画を立てて実施しよう。

卒後までを視野に入れて、4つのプログラムを相互補完的に、教科等の学習と関連付けて、計画的・組織的(連携して)に実施しましょう!

プログラムA 健康で安心できる社会・学校生活、円滑な対人関係形成に向けて

プログラムB 年齢相応の認知的面の力を発揮させ

高校生の興味関心・生活・学習に関連付けて!

プログラムC 生徒の進路に応じて、強化したいスキルに焦点を当て

プログラムD その生徒の問題の解決、課題達成のための力として



本日は、ご参加いただき、誠にありがとうございました。

アンケートのご記入をお願いいたします。

アンケートはこちらから⇒



オンライン第3回研修は8月10日(木) 13:00-16:00

キャリアと日本語指導・教科学習支援

詳しくはウェブサイトをご覧ください

